

1. 件名：「新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（泊3号炉（377）」
2. 日時：令和3年9月9日 14時15分～16時00分
3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室（一部TV会議システムを利用）
4. 出席者：（※ TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

名倉安全規制調整官、天野安全管理調査官、江崎企画調査官、  
角谷主任安全審査官、藤原主任安全審査官、宮本主任安全審査官、  
伊藤安全審査官

北海道電力株式会社：

原子力事業統括部 部長（安全技術担当）、他1名

原子力事業統括部 原子力事業統括部長補佐 藪 正樹※、

原子力事業統括部 原子力部長 牧野 武史、他12名※

## 5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

なお、本面談については、事業者から対面での面談開催の希望があったため、「緊急事態宣言を踏まえた原子力規制委員会の対応の変更について」（令和3年4月28日 第6回原子力規制委員会配付資料3）を踏まえ、一部対面で実施した。

## 6. その他

提出資料：

- ・ 泊発電所3号炉 防潮堤の設計方針について
- ・ ヒアリング指摘事項管理表

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	はい。規制庁のカドヤです。それではただいまから泊発電所3号炉防潮での設計方針についてヒアリングを開始いたします。まず利用者から説明資料の確認、説明についてお願いします。北海道電力のカネダでございます。
0:00:17	先週のヒアリングを踏まえまして、資料のほうの見直しを行っておりますので、説明のほうさせていただきます。説明のほうは、当社の本店のほうのマツモトがWebですけれども行いたいと思います。それでは始めたいと思います。本当をお願いします。
0:00:35	北海道電力の松本です。それでは資料に沿って御説明させていただきます。
0:00:41	もう調停の設計方針についてということで1ページ目をお願いいたします。
0:00:48	1ページ目につきましては、指摘事項に対する回答一覧表ということで隻事項一覧表を作成しております。
0:00:56	指摘事項としましては、審査会合8月26日におきまして、三つの指摘事項を受けております市来と詰めが新設する防潮での構造選定の考え方、二つ目がセメント改良胴部と工程役務の使い分けの考え方。
0:01:14	三つ目が、既存の防潮ていう残置することの悪影響の有無と対応の考え方についてです。
0:01:21	これらの回答方針につきましては、右の欄に記載をしております、
0:01:26	一つ目と二つ目については各構造形式を採用した理由を御説明いたします。
0:01:32	三つ目につきましては、毀損防潮低の崩壊による影響がないことを資料に記載いたしました。
0:01:40	続いて2ページをお願いいたします。
0:01:44	はい。
0:01:45	目次ですが、5章。
0:01:48	到底に左右する過剰と部位の役割、7ポツ7章を調停の再構築に伴う影響について、こちらが新規に追加した内容となります。
0:02:01	4ページをお願いいたします。
0:02:06	○の二つ目で赤字で記載しているところですが、基礎んぼ上程を撤去括弧一部団地スタートに再構築するということで文章を見直しております寺は存亡調停を撤去することを明記しております。
0:02:22	○の三つ目で新設する防潮での構造形式は以下の通りに分類される平面線形及び構造形式の検討経緯は次項に示すということで資料構成上文章を追記しております。
0:02:37	5ページをお願いいたします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:42	5 ページの図面につきましては、地下構造物及び衛星トンネルを示した図となっております。
0:02:50	ここで、矢羽根の一つ目において、指摘事項のうち、毀損防潮という残置することの悪影響の有無と対応の考え方について回答を記載しております。
0:03:01	矢羽根の一つ目、平面線形については、①区間は残置する毀損防潮低の地震による崩壊の影響がないよう離隔を確保するとともにというところで、①区間については、残置する毀損防潮定が地震時に崩壊しても、新設する防潮点に影響がないことを記載しております。
0:03:22	崩壊については、今回記載の適さ適正化を図っております。
0:03:28	矢羽の二つ目において、新設する防潮ては、セメント改良度による構造としてという記載で新設する防潮ての基本構造をセメント改良度としたことを記載しております。
0:03:41	矢羽の三つ目につきましては新規内容ではないため説明を割愛させていただきます。
0:03:47	6 ページをお願いいたします。
0:03:52	6 ページにつきましては、存亡調停の残置する範囲を示しているところを明記させていただきました。
0:04:00	ただ、
0:04:01	続いて 7 ページをお願いいたします。
0:04:06	こちらでは各構造を採用した理由及び核子核構造の構築方法について資料を新規に追加いたしました。
0:04:16	黄色枠のところを御説明させていただきます。
0:04:19	ある一つ目、セメント改良どぶを採用する理由は以下の通りである。
0:04:25	発電所の敷地海側の岩盤は海側に向かって低くなる特徴があるため、埋戻凍土の液状化影響を考慮して、堤体構造を採用する。
0:04:36	セメント改良ど堅固な岩盤に支持させる構造とし、砂そう粘性度層が介在する箇所岩盤傾斜及び岩盤不陸がある箇所は人口岩盤に置き換える、
0:04:49	セメント改良どの幅は滑り安定性、
0:04:53	設置許可基準規則第 3 条を確保できるように設定する。
0:04:57	人工岩盤の高さは海山方向で岩盤高さが異なることが想定されるため、岩盤高さが高いほうの位置に合わせる。
0:05:06	ということで採用する理由をする記載しております。
0:05:10	〇の二つ目、セメント改良道具は基礎岩盤まで掘削している人工岩盤を無菌コンクリートで構築した後、発電所構内の岩盤から採取して破碎した材料にセメント水と混合したセメント改良で構築する。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:27	こちらの文章で構築方向について説明するとともに、人工岩盤とセメント改良どの部材に簿外について御説明しております。
0:05:39	8 ページをお願いいたします。
0:05:43	こちらのページでは 3 号取水炉、3 号放水炉においてセメント改良道具を採用した理由を説明しております。
0:05:51	丸の一つ目、3 号取水量はセメント改良どうどう最下 10 として見込んだ場合においても耐震裕度を確保できる見込みであることから、3 号取水炉上部にセメント改良道具を構築する丸の二つ目、3 号放水炉は岩盤内に構築されており、
0:06:10	3 号放水路上面から岩盤上限までの離隔が十分に確保され、セメント改良どう上載荷重として見込んだ場合においても、地震による損傷等による調定への影響がないと考えられることから、3 号放水路上部の岩盤上にセメント改良道具を構築する。
0:06:30	こちらで三郷手法水路についてセメント改良道具を採用した理由を御説明しております。
0:06:37	9 ページをお願いいたします。
0:06:41	9 ページにおきましては厚生費基部括弧横断部を採用した理由と高知候補について御説明しております。
0:06:48	丸の一つ目、厚生費基部括弧横断部を採用する理由は以下の通りである。
0:06:54	12 号取水炉及び 12 号放水炉はセメント改良どう共済荷重として見込んだ場合、耐震裕度が小さくなるため、荷重を作用させない構造とする。
0:07:06	基礎杭を岩盤に根入れする構造とした場合、液状化影響を考慮すると、杭の変形が大きくなり各位の十分な裕度を確保できない。
0:07:16	そのため基礎杭は全校岩盤に支持させ構成比は 12 号取水炉及び 12 号放水炉の上部を横断させる構造とする。
0:07:26	構成比は基準地震動 $S_s$ によるチェーンか括弧速報流動揺すり込み沈下等を考慮した高さまで埋戻だに埋め込む
0:07:36	○の二つ目、厚生費部下後段部は、基礎岩盤まで掘削し、全校岩盤を無菌コンクリートで構築した後、考え及び構成機器を設置して構築する。
0:07:49	そいて 10 ページをお願いいたします。
0:07:54	こちらのページでは 12 号取水炉 12 号放水炉において税引き部下後段部を採用した理由を御説明しております。
0:08:04	丸の一つ目、12 号水路及び 12 号放水炉はセメント改良どうどう最下 10 として見込んだ場合、耐震裕度が小さくなるため、荷重を作用させない厚生費米価後段部を構築いたします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
 発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:19	なお、地震及び津波による地形変化等により人超過が埋戻同層から敷地へ流入する可能性に対する検討方針は今後御説明いたします。
0:08:32	それで相手 11 ページをお願いいたします。
0:08:37	こちらでは、構成基部格好取合部の採用理由を御説明しております。
0:08:44	音声基部括弧取り合い部を採用する理由は以下の通りである。
0:08:49	基礎杭は岩盤に根入れする構造とした場合、液状化影響を考慮すると、杭の変形が大きくなり基礎杭の十分な裕度を確保できない。そのため基礎杭は全校岩盤に支持させ構成液を知りさせるこうこう生計を支持する構造とする。
0:09:06	なお、構成基部取り合い部は津波荷重な左右する面積が正規分布後段部より小さいため、1 本の杭で生協支持させる構造とする。
0:09:17	構成基部取り合い部は基礎岩盤まで掘削し、人工岩盤を無菌コンクリートで構築した後、鋼管ぐい及び公正競争接地抵抗付けいたします。
0:09:28	以上が各構造を採用した理由と構築方法についての御説明となります。
0:09:36	続いて 13 ページをお願いいたします。
0:09:44	3 ページにおきましては、防潮での設計方針に関わる設置許可基準規則の条文として第 4 条及び第 5 条のみを整理いたしました。
0:09:54	第 4 条のうち 4 項、耐震重要施設は前項の地震の発生によって生ずるおそれがある斜面の崩壊に対して安全機能が損なわれる恐れがないものでなければならぬについては、基礎地盤の安定性評価にて説明することを考えております。
0:10:12	16 ページをお願いいたします。
0:10:18	16 ページから 30 ページにかけては、第 4 条第 5 条に関わる内容となるように資料の記載内容を修正しております。
0:10:29	はい。
0:10:34	続いて 36 ページをお願いいたします。
0:10:46	こちらではこのページ以降で示した断面が各構造形式の代表的な断面であること、こちらは丸一つ目に追記しております。また設計における評価断面は別途整理し、今後説明することを丸二つ目として説明を追記しております。
0:11:12	続いて 49 ページをお願いいたします。
0:11:25	前回のヒアリングにおいて 12 号目もご指導を用いることの妥当性について、コメントがありましたのでこちらの結果、検討については今後御説明するという事で丸の三つ目、なお、12 号埋戻しの物性値を用いることの妥当性については今後御説明するという事で文章を追加しております。
0:11:45	50 ページをお願いいたします。
0:11:50	まず、ページにおきましても、文章を一文追加しております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:54	新規に設定した解析用物性値の設定方針については今後御説明するという文章を追加しております。こちらについては中和利子裏返し被覆ブロック等その他新規設定値については今後御説明するということを御説明しております。
0:12:16	続いて 56 ページをお願いいたします。
0:12:26	こちらでは防潮点に左右する荷重と部位の役割の概要についてまとめております。
0:12:33	枠の中ですが、防潮ではセメント改良道具を正規部下後段部及び構成いけるかっこ取合部の三つの構造形式に分かれております。
0:12:43	セメント改良部はセメント改良どう岩盤または人工岩盤に鉛直支持させるとともに、滑りに対する安定性を確保する設計としております。
0:12:53	成否基部横断部取り合い部は人口岩盤に鉛直支持させるとともに、滑りに対する安定性を確保する設計としております。
0:13:03	防潮での構造成立性にはこのような構造に左右する荷重に対し、各部位が主要な機能を発揮して安全であることが必要である、このような観点から左右する荷重構造体の変形モード及び各部位の役割について整理しております。
0:13:20	57 ページをお願いいたします。
0:13:26	このページ以降で各構造形式に左右する主な荷重と変形モードについて整理をしております。
0:13:35	また、各部位の役割については 58 ページに表で整理をしておりますが、こちらの内容につきましては、第 2 章で整理した内容と同様となっております。
0:13:45	以降、推進時におけるセメント改良胴部の変形モードと荷重図及び役割。
0:13:53	それでいて、59 ページ 6、60 ページにつきましては、セメント改良胴部の津波時における荷重－変形モードと荷重図、
0:14:03	61 ページにつきましては重畳時における変形もどうか十分についてご説明をしております。
0:14:10	62 ページで重畳時の役割について記載しておりますが、こちらは地震時及び津波時の役割の量を期待していることを期待しております。
0:14:22	63 ページをお願いいたします。
0:14:25	63 ページ目以降は厚生費基部確保横断部の内容について御説明しております。
0:14:33	69 ページをお願いいたします。
0:14:41	69 ページにつきましては、構成比基部括弧取合部の内容についてご説明をしております。
0:14:52	それで 76 ページをお願いいたします。
0:15:00	76 ページにおきましては、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:04	報道等に関する先行炉との比較において、先行炉として女川発電所で選定しておりましたがこちらの資料を最新化しております。77 ページをお願いいたします。
0:15:20	テラについてはどのように、女川発電所の資料最新化するとともに、説明文を修正しております。
0:15:28	防潮低のうち構成平気か後段部は人口岩盤に鋼管ぐいを支持させる構造であることから、女川発電所における鋼管式鉛直駅括弧一般部を選定しております。
0:15:41	また、既存構造物上部を精液で横断させる構造であることから、東海第 2 発電所における構成防護併記を選定しております。
0:15:50	それぞれ先行炉選定した理由を追記しております。
0:15:55	78 ページをお願いいたします。
0:15:58	78 ページにおきましても、
0:16:00	女川発電所の資料について最新化を図っております。
0:16:06	20 ページをお願いいたします。
0:16:12	調停の再構築に伴う影響についてということで、
0:16:16	影響のある屋外アクセスルート及び屋外溢水影響評価について記載をしております。
0:16:22	あれの一つ目、屋外アクセスルート、
0:16:25	こちらはこれまで防潮定常をアクセスルートとして活用しておりましたが、防潮での再構築に伴い調停の内側にアクセスルート、
0:16:36	地震及び津波を考慮しても使用可能なルート設定いたします。
0:16:40	敷地でTP31 メーターからBPDAメーターへのアクセスルートについては、西側ルートは岩盤内にトンネルを設置し、東側形状を変更した道路を設定いたします。
0:16:52	存亡調停を道路として残置する範囲については、サブルート
0:16:57	括弧地震及び津波以外の地震発生時に活用するルートとして設定いたします。
0:17:04	○の二つ目、屋外溢水影響評価や話法調停の再構築に伴い、BPDAメーターの敷地形状が変更となることから、最新の敷地形状を反映した屋外生協評価を実施いたします。
0:17:18	背中を頂点の再構築に伴う影響について整理したものです。
0:17:28	以上が前回のヒアリングを踏まえて今回資料を修正したところとなります。
0:17:35	説明は以上となります。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:40	規制庁の加藤です。今のパワーポイント資料の説明いただきましたけど、もう一度指定指摘事項のその管理表が配られていると思ってこちらについては説明を、いかがですか。
0:17:57	本店制度の方からヒアリングの指摘事項の管理表の説明のほうでいきます。
0:18:15	これも手シバタです。ヒヤリング指摘事項管理票に基づいて早いページについて説明させていただきたいと思います。
0:18:24	お願いします。
0:18:33	北海道電力の松本です。ヒアリング指摘事項管理票に基づいて御説明させていただきます。
0:18:41	管理ナンバー
0:18:43	0 一番防潮で概要としましてはプラント側の審査会合であることを踏まえ各条文に対する確認事項は、四条五条のみでのみを示すことということでこちらについては、資料から三条に記載については削除し、四条五条のみを整理いたしました。
0:19:03	反映資料につきましては記載のページに反映をしております。
0:19:08	管理No.が二つ目。
0:19:11	前回 8 月 26 日の指摘事項に対する回答の記載を充実化させることということで、新設する冒頭低の構造選定理由セメント改良胴部等構成基部の使い分けについて、既存の防潮てを設置することの悪影響の有無と対応方法
0:19:28	全こちらについては、資料に記載の充実化を図っております反映資料としましては記載のページに反映をしております。
0:19:40	管理No.三つ目泊発電所の敷地配置や地質構造を踏まえた冒頭低の構造選定の考え方について説明すること。
0:19:50	そういうところに対応、対応としましては、施設の配置や地質構造を踏まえた防潮ての構造選定の考え方を資料について、新たに資料を追加して説明を差し上げております。
0:20:03	回答箇所としましては記載のページに来回答を
0:20:08	記載のページに記載をしております。
0:20:12	続いて管理ナンバー4番、断面図等を示した上で、荷重の伝達を踏まえた各部材の役割について整理することということで拡充の伝達を踏まえた各部材の役割について、第5章で追加をしております。
0:20:29	続いて一つ飛びまして、管理No.6で人工岩盤を難透水性を把持させることから地盤と区分した理由について整理し、今後説明することということで、施設の配置や地質構造を踏まえた防潮ての本図を選定の考え方におけるところで御説明をさせていただきました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
 発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:20:48	管理No.7番、こちらも同様に人工岩盤とセメント改良について使用材料の観点から使い分けについて整理することと、いうところにつきましては、同様に資料に記載を充実化させていただきました。
0:21:08	続いて款
0:21:10	管理ナンバー10番法制基部の中央の断面も追加して示すこと。
0:21:16	到底の断面選定の考え方について説明することということで厚生費基部の中央の断面図を資料に追加しております。
0:21:25	設計における断面選定の考え方については今後整理して御説明させていただきます。
0:21:32	管理No.11番サイトとの比較において最新の概要図を用いることということで先行審査の最新資料を反映させていただきました。
0:21:43	管理No.12番、全校岩盤について岩盤傾斜等踏まえクリック生成やセメント改良どの支持岩盤としての役割について、地質断面図とあわせて整理すること、こちらにつきましては、
0:21:57	施設の配置や鉄コード踏まえた調停の構造選定の考え方については今回の資料で御説明させていただきましたが、地質断面等の技術情報については今後サイレン再整理した上で御説明させていただきます。
0:22:12	管理No.13番構成基部において司法水路との間の埋戻しどの支持力に規定していない、期待していないことを説明すること。
0:22:21	こちらについては、同様に施設の配置や地質構造を踏まえた防潮での構造選定の考え方において御説明させていただきました。
0:22:33	二つ飛びまして、管理No.16番新設防潮での設置に伴って変更となった10メートルば盤へのアクセスルートを防潮での資料に図別することということでこちらは新たに図面を追加させていただきました。
0:22:48	管理No.17番毀損冒頭低の損傷による影響の考慮について方針を示すことということで、存亡頂点の損傷による影響の考慮について資料を記載しております。
0:23:05	以上がヒアリング指摘事項管理班に概要に対する対応方針の御説明となります。
0:23:13	規制庁のカドヤです。ドイ今の管理表のところで今説明いただいたのは／今日の説明資料の中に反映したものですけどそれ以外のところっていうのが対応予定時期ということで、もちろんそっちがポイントかと思えますけど。
0:23:29	そこに書かれた通りの時期に説明をするということと理解をしました。
0:23:35	はいそれでは規制庁側から確認点などありましたらお願いします。
0:23:52	規制庁のエザキです。私からですね、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:57	パワーポイントのですね、中、
0:24:02	22 ページですね。
0:24:04	22 ページ開いていただいて、21 ページ見ていただくと、右の視察ですね、正面図が書いてあって、ここで水道を 12 号機の水路直上をですね、埋戻どう
0:24:21	降雨がですね、何らか役割があると思うので、そういう役割っていうのが書いていただきたいと 22 ページ以降ですね役割の表でっていうのは、
0:24:34	なぜそのように申し上げてるかという、
0:24:40	だって、
0:24:44	9 ページをですね。
0:24:46	見ていただくと、一つ目の丸の一番下の矢羽のところでは、
0:24:53	いわゆる 5℃度で構成傍聴席を埋め込むつってるとですよ。
0:25:00	それは多分速報粒度人家を高所高さまで踏み込むと言っていますので、
0:25:06	その役割があると思うんですよ。
0:25:09	この文章を読む限りですね。
0:25:12	そういうこともありますので、単なるすることじゃなくて、何ら四角を、つまり、
0:25:18	監視ですね、なんらしく防護するっていうのがいいとか、読み取れますので、この部分ですね、いわゆる 1 号機水路の直上のご指導自体、いわゆるより指定組み込むとしてますが、
0:25:36	その意図がちょっと役割関係してくれますので、その辺はちょっと明記していただきたいというのが一つです。
0:25:47	もう 1 点、2 点目ですけども。
0:25:50	10 ページの
0:25:52	左、
0:25:55	自分の図ですね、12 号機水路断面図、
0:25:59	これって、
0:26:00	中央面の敷地表面なので地表面ですね、の形状があまり正しくないんだと思います。
0:26:09	て申し上げますと、まずそう言っているかという 48 ページこっちが正しいとは思いますが、
0:26:17	48 ページの、多分これ横断部と書いてありますんでそこっていうのは、
0:26:25	護岸付近ケーソン号館のところが、
0:26:28	うーん。
0:26:30	つまりと敷地としては低いんですよ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:33	kA式自体はTP+10 メーターって書いてあって、そういった育って擁壁かなんかですね、段差ができています。
0:26:43	そう離隔との関係もいろいろ構造としてですね、懸念される事故等々を留意事項っていうんですかね、もブースティング関係してくるかもしれませんので、
0:26:59	これらのぼんちいろいろ書いてあると思うんですが、これらの値 9000 とかですねは正しく書いていただきたいと思ってるんですが、いかがでしょうか。
0:27:12	北海道電力タツタで 3 人詰めの根戻しどの件、これは一応、
0:27:20	指示壁が直接支持されてないものは津波の
0:27:26	先ほど岩盤難透水とか申しあげましたけれども、その通り通りにくさで本店シバタですタツタさんの声を本店側でちょっと聞き取れないんでマイクの近くでしゃべっていただけないでしょうか、動的声聞こえますか。大丈夫ですか。はい、聞こえます青色
0:27:46	一つ目の埋戻しどんなお話ですけども。
0:27:50	これ津波の津波時の等々しにくさというところもありますのでその辺今検討中でございますけども役割期待を記載するようにいたします。
0:28:02	二つ目の閉と 10 ページのこの確かポンチ絵過ぎて日左側が海側が護岸が下がっていくところと、先ほどの 40、
0:28:18	48 ページですが、ちょっとその辺遠い近いところもありますのでその辺ちょっともう少し正確に記載させるようにしたいと思います。以上です。
0:28:30	規制庁のエザキ 3 点目でさっきの中央面の地形の話ですねちょっと類似したところがあるんですが、協議事項として、表現として 55 ページ、67 ページを交えなんですが、多分これ、荷重図ということで書いていると思うんですよね。
0:28:46	実際はウェル戻すということになっているので、今後、例えば 67 ページのほうも津波荷重って書いてある。
0:28:54	火報のほうですね所引か右のあるですね、敷地需要面まで運用しているんですけども、
0:29:04	もしかしたら津波荷重がここまで保守的に溶けてるっていうだけにしかすぎないかもしれないですけど、そういう人かですね。それからよりしていただかないとこれだけ見る限りだと。
0:29:14	ふうん下手すると、もしして
0:29:20	津波の難透水性とかいう話じゃ不何と水性の効果を見てる見てないっていうことがよくわからないような話になってると思うんで、いわゆる家事図面を変えたときに、図面の意図がわかるようにしていただきたい。
0:29:35	例えば表面を破線で実際には、
0:29:38	荷重が多くなるように、保守的に、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:42	うん。
0:29:43	前面の通り川内とか、
0:29:47	ないという前提で計算のお金を計算しますと言ったことが人としてわかるように ですね、明確にしていきたいんですか。
0:30:00	いただければ今の段階であれば、そんな細かいところも安いのと同じような図面 って説明していただいても結構ですけど。
0:30:11	はい、北海道電力タツタです。65 ページと 67 ページが津波時と重畳時になっ てますので、地震が
0:30:20	起きて、前面が沈下してるところが、そっか、その説明不足かなと感じま したのでその辺
0:30:30	この地形になっている絵になってる説明を加えたいと思いますので、よろしくお 願いします。
0:30:42	規制庁のナグラです。
0:30:44	65 ページ 67 ページの
0:30:47	左側の図が右側の図もそうですけど。
0:30:52	スミ津波荷重を作用させている高さの下場が
0:30:57	若干人工岩盤まで行かないという中途半端なこの高さで欠けているっていうの は、これは埋戻どの沈下を考慮して露出する部分を最大限に見込んで、
0:31:09	津波荷重をかけているということの意味してるんですか。
0:31:14	はい、北海道電力タツタですはいその通りでその敷地全体で沈下計算をして まして、それを保守的っていうか
0:31:25	いつ全体抵抗一律何メートル下げるという数字を当てはめて、それが時んね 的には少しのミヤモト数が残ってる状態になってますけども、その理解で問題 ないです。以上です。
0:31:41	規制庁ナグラです。
0:31:44	埋戻同和じゃ背後にありますよね。
0:31:49	背後にある埋戻とは何も効果を見ていないっていう理解でよろしいですか。津 波荷重を向性平気構成部位で人工岩盤に伝えて埋め戻し同和後ろ充填され ているけれども、
0:32:04	反力として埋め戻しには負担させないっていう理解でよろしいですね。
0:32:12	北海道電力タツタです。この構成平均のところCodeセメント改良のところもそ うですけども、
0:32:22	一応この残ったかったの初めての陸地側のほうの埋戻し指導はある状態で計 算を今してますけれども、
0:32:33	今ね等、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:36	ちょうど 65 ページでいくと、人工岩盤低迷もご指導下限のてますので、沈下ほとんどしない。
0:32:45	結果にもなっておりましてその辺を再現して米を書いてます計算構造に寄与するかというと、
0:32:54	ちょっと
0:32:56	厚生費壁の能力にはあまり影響してないんじゃないかなと思ってますけどそのまだ考察がまだできてませんので、ちょっとその辺を詳しく考察していきます。以上です。
0:33:12	今までの案件では埋戻ではあんまり
0:33:16	止水性とか、何透水性もしなければ止水性とか、それから、反力として、津波の荷重とか、あとは地震力の荷重伝達とか、そういうところは最低限比較考慮していなくて、
0:33:32	あまりこういうふうなモデル化をしてモデル化をしているがゆえに、解析上は荷重を伝達してますっていうのはあんまり聞いたことがないので、
0:33:45	確かに人工岩盤のYES速報に埋戻しがあって、これに関しては、
0:33:55	人工岩盤そのものが岩盤からずれなければ、
0:33:59	ただ単に人工岩盤のところにあるものは反力としてはあまり聞かないと思うんで、そういう意味で、設計思想として、どういう設計思想をとっていくか。
0:34:10	というところがですね、特に埋め戻しに対して何を期待してるのか。
0:34:15	これがちょっと今日の資料ではわかりにくいなと最初に言って鉄塔横断もそうですけどね。
0:34:24	そこら辺をちょっと今後明らかに。
0:34:29	していただきたいというか設計方針として、
0:34:33	埋戻しにどういう役割を期待するのかというところですね。
0:34:38	それが明確に説明されるべきかなというふうに思ってます。はい。以上です。
0:34:45	北海道電力のタツタで構成式理解しましたのでメモ埋戻どの役割というところで記載していきたいと思います。以上です。
0:34:55	はい。
0:34:56	規制庁のエザキですけども、私から、あと、あと 2 点ほどですね事実確認したいんですが、
0:35:03	それはですね、7 ページ、8 ページになりますので、
0:35:08	このセメント改良部の 2 分の 1 と 2 分の 2 なんですけど、まず、3 号機、2 分の 2 のほういうと、これ人工岩盤ないんですよね。
0:35:22	一方で 7 ページのほうは人口岩盤がある。時以降岩盤の方にある理由としては、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:31	この文章ではなんか
0:35:34	感覚的に技術的な感覚からすると。
0:35:37	質問 7 ページの箱書きの一つ目の丸の一つ目の矢羽ついたらいいですかね、発電所の敷地の海側の岩盤は海側に向かって傾斜してることですよ。
0:35:52	なので、液状化した場合に、即応粒度とか、いろんな影響でこの文章読むと、安定性がよくないだろうなと。
0:36:02	だから、
0:36:03	そういう傾斜不陸ある次の矢羽でいくと、最後に形成岩盤傾斜及び
0:36:10	岩盤不陸がある箇所は人口岩盤に置き換える、
0:36:14	で書いてあります。
0:36:16	一方で、
0:36:19	8 ページの絵を見ると、何となくその岩盤がそう傾斜してなくフラットになっているので、
0:36:27	人工岩盤が要らないという、さっき言った 7 ページのような、そういう矢羽二つ目に書いてある二つに書いてあるような傾向がないから銀行が参らないのかなと思って思ったんですけど。
0:36:41	この理由というのは、それが今勝手に解釈した話ですけど、こういう解釈でよろしいんでしょうか。
0:36:49	当北海道電力のタツタです。7 ページのはですねまた緑側の断面図で、人工岩盤が傾斜してあるところについては、
0:37:03	はい。
0:37:05	岩盤が傾斜してるところですけども、そこは追設幸いです 336 ページ。
0:37:19	30
0:37:22	38 ページがですね、38 ページにあります。上の平面図でいくとCC断面、
0:37:32	極端に岩盤が傾斜海側に傾斜してる絵を書いています。
0:37:40	8 ページの 3 号機取水炉のほうは、
0:37:45	37 ページに下に断面で、これ縦断面図になりますけども、2 連のボックスカルバートが見えると思いますけれども、その
0:37:56	土田の水路で水路方向に 10 段で切ってるような記載しています。
0:38:04	その辺の都度、場所の違いもあり、このポンチ絵と差が 8 ページのこの人工岩盤がないところについては多少考慮して書いてますので、その辺で、人工岩盤ありなしというところが違ってます。
0:38:22	以上です。エザキですがちょっとよくわからなかったのは、岩盤が傾斜してる無関係な気がしているのかしていないのかっていうと、どちらなんですよ。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:34	動作さんは北海道電力のタツタです。33号機の取水炉というところでしょうか。建設の3号機の出力つくったときに、水路を構築するために規則作をしていますので、そこで負側のガンマ掘り込んで作っていますので、
0:38:53	これでいくとは37ページの断面図を見ていただくとあれですけども、岩盤、
0:39:02	天然の岩盤に少しイメージが振り込んで水路を作っているのですが、この傾斜は水道の部分についてはないというところなんです。以上です。
0:39:13	規制庁のエザキです。できればですねこの8ページのところで、総人口岩盤がない理由を書いていただくといいんですけど、結論から言うと、
0:39:25	北海道電力のタツタですが、了解しました。はい。
0:39:29	以上です。あと
0:39:32	あれですね、人工岩盤はこの3号、
0:39:36	取水塔放水補正はあまり関係ないかもしれないですけども、その周辺以外はすべて人口が、
0:39:45	作るとでなければ上に書いてあるような傾斜岩盤が傾斜海側に傾斜していたり、
0:39:51	岩盤の不陸はあるところは全部置き換える、そういうように読み方でいいんですかね、北海道電力のタツタです
0:40:00	人工岩盤ありなしかというところについては36ページ目以降の3678の縦断面図がございまして、
0:40:10	この部分に36ページでいくと、中断をしたの縦断面見ていただくと左側が端部、
0:40:20	図面で行くと右左側の端部にすりつくところですけども、こうからずっと右側に流れていくところ人工岩盤人工カンバラで1切出しているところは、右側に岩盤が傾斜していて、人工岩盤を構築する。
0:40:36	予定の範囲としているところなんです。以上です。規制庁秋ですが、
0:40:42	進めいわゆる膨張とね、
0:40:47	路線上の
0:40:49	断面図だから、
0:40:51	そうよみたいな所話を情報としては、
0:40:56	例えば39ページ以降のような断面図がないと我々わかんないですよ。全部書けとは言わないんですけど、今間に合わなければですね。
0:41:06	ある程度とかさ3号機のところとかもあるんであれば、
0:41:12	加えていただければ、いわゆる今のところこれ見る限りは、例えば39ページ40ページ

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:19	41 ページって全部、人工岩盤があるところで人工カンバラがないところは、一応、
0:41:24	ないわけですね。
0:41:26	もしそれが用意できるのであれば、中には入れていただきたい。
0:41:31	北海道電力のタツタです。準備したいと思いますので、はい。
0:41:38	了解いたしました。以上です。
0:41:40	あと規制庁のエザキです。ちょっとここはちょっと明確にしておきたいのが 11 ページで 11 ページの箱書き能三つ一番下の矢羽ですね。なお書きで書いてある、いわゆる構成部格好
0:41:56	とりあえずは融点部署のほうに 1 本の杭で支持させるっていう話を書いてあって、
0:42:03	もしかしたらちょっと見わかりにくいんですけども、
0:42:07	右下のですね、含むHow青。
0:42:10	箱書きっていうんですけど、青枠で囲っているところですねこの杭 1 本ごとに
0:42:17	なんですけども、水撃っていうんですか。
0:42:22	もう押せば線が入ってるんで、セパレートしてるのかなと。
0:42:26	女川方式なのかなと思っていわゆる
0:42:29	類似するものとしてとしてはですね 8 ページの
0:42:33	これ岩盤部のほうですけど、右下に書いてあるように、杭一本化して支社水撃
0:42:41	がついてくると。
0:42:43	そういった積層何となく当分とそれで間違いないですよ。北海道電力タツタです。その通りです。女川の 1 本の杭方式立方あたりに一つのパネルの方式です。
0:42:56	できれば 11 ページにもですね、今の絵みたいになんて
0:43:01	そこの部分を取り出して、1 本なんだよと。それに対して冊兵器がそれに 1 区 1 本ごとについてくるんだっていうのが変わるとおはかりやすいような図をつけていただくとありがたいんですが、いかがでしょうか。
0:43:14	はい、北海道電力タツタです。了解しました。
0:43:19	一応はかりにくかったかもしれませんが、45 ページに、パース図っていうか鳥瞰図みたいなのを 45 ページで行くと右、右下の、
0:43:31	ようなものがあるんですけど、ちょっと分かれているかどうか。
0:43:36	三国間で、その辺をわかりやすく、
0:43:41	一方、ちょっと言葉でも表現するようにさせていただきます。できればですね説明文等、同じページで説明していただくと非常にありがたいので、
0:43:53	ちょっと後段のほうで見てくださっていうのはなかなかそこまで

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:43:56	読み取れない可能性がありますので、それはしっかりと説明文に対して貯槽図はちゃんと対応するようにつけていただければと思います。以上です。北海道電力のタツタです。了解いたしました。以上です。
0:44:14	規制庁のナグラです。
0:44:19	8月の下旬の会合で、こちらのほうから幾つか、今後防潮低の概要構造概要と設計方針を示す際にしつつ、可能であれば回答して欲しいということで3項目挙げて、
0:44:35	それで今日記者限りでは3項目、一応答えているということなんですけれども、ちょっと私自身、指摘したいとも含めて説明しますと三つ目の既存の防潮で残置することの悪影響の有無とその対応方針。
0:44:56	これに関してはおそらく今の回答でいくと。
0:45:00	一番最初のページに多分書いてあると思うんですけど、1ページのところに影響がないことを資料に記載ということで5ページで、
0:45:14	多分離隔をとるとか、そういう形で言われてるんですけども、もうちょっと丁寧な説明をしていただきたいのは当然を基準津波を襲来する前に来襲する前に、
0:45:31	地震の被害を考慮してということも要求としてあるので、まずはSsを採用したときに、
0:45:40	既存の防潮定がどういう状態の被害をこうむるのか。
0:45:45	その状態で考えたときに地震だけで何か基準適合上何か影響を及ぼすような施設が近接してないかとか、
0:45:56	それからそのあと、特に復旧とかしないで、津波が来た場合に、津波に関してどういうふうななんてなかなか効果効果出ないんですけど、影響が上乘せされるのか。
0:46:12	そうですね。そういったところですね、ちょっと丁寧に説明をいただいて、あくまでもなんていうのかな、耐震の波及的影響という観点で影響がないように新設を設置する新設の方に対しての影響はないですよということにとどまらずですね。
0:46:30	地震時の状態をちゃんと想定した上で、もう少し広い範囲で可能性を検討して、今日の条文適合書ですね。
0:46:41	その上で、影響がないという論理を展開していただきたいとそういう意味で、
0:46:50	9月に答えられないかもしれないけど1月とかそういうところも含めて答えていただきたいというふうに指摘をしました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:57	ちょっとそれを理解した上で、今回はあくまでも防潮で新設の防潮低を設置する上では地震による波及的影響の防止の観点から離隔距離をとったということであればその旨ですね、いただいて残り
0:47:13	詳細には今後説明するというふうにさせていただければと思います。
0:47:19	以上です。
0:47:21	北海道電力のタツタです。了解いたしました。
0:47:25	以上です。
0:47:28	規制庁のナグラです。
0:47:30	あとちょっと
0:47:32	事実確認として質問をさせていただきます。
0:47:36	9 ページ 10 ページ。
0:47:38	厚生費基部の横断部ということで、正面図が右側に載っています。それで
0:47:47	9 ページが、
0:47:49	12 号取水量。
0:47:52	それから 10 ページのほうの下のほうを 10 ページを見れば日本てます 12 号取水量と放水量。
0:47:59	両方とも思っていますけど、
0:48:02	設置されている高さ支持盤はそれぞれ違うんですけども、
0:48:07	ちょっとお聞きしたいのは人口岩盤等、実際の取水量を放水量との間が若干こう、
0:48:15	埋戻しを挟んでいるんですけども、これは何か愛してるところがあるんでしょうか。
0:48:28	はい。
0:48:31	。
0:48:38	ごめんなさい。北海道電力タツタで即各水路の速報の
0:48:45	幅野。
0:48:47	離隔人工岩盤と真実つけちゃっても、
0:48:55	離隔が居てるところということですね、ある程度ちょっと施工のことも、
0:49:04	考慮しているんですけども。
0:49:07	人工岩盤を構築するのに通関再地盤というところもありまして、ホールケーシングでも全周海域で掘ったときに、その構造を沈降、
0:49:23	人口岩盤もう
0:49:25	どうして見るかどうか。
0:49:27	というところで、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:29	分間研修会で土留の下から、その隙間など住まってしまうところがございます。
0:49:39	そういうことで再編非常ですか。
0:49:41	規制庁のナグラです。
0:49:44	わかりました。このところはオープン掘削ではなくて、度目として低廉的を打つとか、そういうものが可能性が高くて、農連匹は本設じゃなくて、仮設だから、解析増というか設計上はそのところは埋戻度で安全側、
0:50:04	設計をするということの意味して、北海道電力がその通りです。はい。
0:50:10	わかりました理解できました。
0:50:13	うん。何かそういうところがですねちょっと見つめていくと不思議なところというのか、何でこうしてるんだろうというのが、先ほどのつつ厚生費の前面の埋戻しでも津波荷重を採用するところだけ高さが変わっていたり、
0:50:30	うん。そこら辺がですね、イトウしていることが何かこういろいろこう材料として散らばってるんだけど、それが一体何を意味してるんだろうっていう試験も考えてしまいますので、そういう意味でやっぱりなんていうのかな。
0:50:45	施工プロセスが今後明らかになると思いますけど、設計上の保守的な配慮をしているのであれば、それがわかるような説明を今後ですね充実させていただきたいと思います。いかがでしょうか。北海道電力タツタです了解いたしました。はい。
0:51:03	その辺の記載もしていきたいと思います。
0:51:08	以上です。
0:51:13	規制庁のナグラです。
0:51:15	あと1点伺いたいのは、36ページから
0:51:19	地質構造ということで傍聴低の重断面源泉方向に
0:51:28	地質図という形でこれが地質図っていうオーダーでもないのかなと思うんですけど、
0:51:35	ちょっとお聞きしたいのは、この人工岩盤としてるところの下面ですね。
0:51:41	下面のところは主にはこうなんていうのかな、自然の岩盤の火炎線をあらわしているところもあれば、
0:51:51	逆に、矩形の形をしていて成形してるようなところも見えるんですけども、
0:51:57	実際これは現状としては、岩盤の面がなかなか推定というところをある程度
0:52:07	セメント改良の下を掘って岩盤を出すところで成型させるということを意図してるんでしょうか。
0:52:16	北海道電力のタツタですが
0:52:19	地方

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:21	人工岩盤、例えば 36 ページの真ん中ぐらいにそういう平らなところがございませぬけども、こういうところは、12 号機時代の調査とか岩礁コンターからすると、まさしくこのような地形になってまして、実際降ると、
0:52:39	多少でこ飛行あると思いますけども、ちょっとその辺の地質既往の調査結果から出てるコンタずつ干渉コンター図をもとに書いてます。以上です。
0:52:51	規制庁のナグラです。
0:52:54	セメント改良毒で若干こう海側に岩盤が傾斜しているから、傾斜を補うもしくは岩盤上の劣化部とか不陸部を埋めるためにMMRをまずあれな。
0:53:10	面をつくって、ちゃんとその上にセメント改良を載せて施工しますと、
0:53:16	ということであればですね、これは今回の会合には間に合わないかもしれないんですけど、今後ですね、しっかり示していただきたいのが現状で、
0:53:27	地質図がどうなってるのか、沿線方向防潮ての線方向 10 縦断方向といいですかね、そういう方向に現状の地質がどうなってるのか、それは一、二号炉 343 号炉建設時に改変してる部分もあるわけですね一部
0:53:47	ですからそういったところがですね現状の組成としてどうなってるのか。
0:53:52	この地質構造として、そういうことがまず前提としてあって、
0:53:56	それで、観光したときの姿としてこういう姿になります。
0:54:01	ということのですねサブをちゃんと示していただくと、これはもう女川とかでもちゃんとやってもらって、最初はなかなかやらしてもらえなかったんだけど、このところをしっかりと示すことが逆にこの防潮ての設置もしくは
0:54:17	選定のですね、妥当性を示すことになるんじゃないかなっていうそういうふうな材料をちゃんと丁寧に示してもらった上で一つ一つ確認していくということをこちらをやっていきたいと思っておりますので、そういう意味で縦断方向は今お話ししましたけど横断方向も、
0:54:33	複数で特徴的な施設側として特徴的な断面、それから地質構造として特徴的な断面
0:54:41	そういったものが結構あると思うんですね。
0:54:45	そういうところをちょっとまず基本的な情報として丁寧に示していただきたいと思っておりますこれは今後の取り組みとして、お願いしたいです。
0:54:54	いかがでしょうか。
0:54:56	はい北海道電力のタツタです。先ほどなんなんです。
0:55:01	当横断んと防潮てできると断面図にはございましたので、これの傍聴点の長手方向の地質もつくってございませぬので、ちょっと 9 月 30 日間に合うかどうかちょっと今検討しますけども縦断方向の方にも地質図、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:20	私はこのセメント改良もしくは人工岩盤のところは埋戻度になってますのでその辺がわかる。今後示していきたいと思います。以上です。
0:55:33	規制庁のナグラです。わかりました。あと、前回もエザキのほうから指摘ありましたけど、当然不能防潮平均の周辺にですね。ケーソンとかいろんな割り石とかも含めてですね。
0:55:50	色んときだとか含めてどういうふうな位置関係にあるのかでそれを設計上どう扱うのかというのは島根でもいろいろ議論になっていますので、そういう意味で各断面の特徴的なものとして示すと示すものとして、
0:56:07	一般の港湾施設としての護岸の部分と近接しているところとかですね。
0:56:14	そういうところに、
0:56:16	そうですね。ノンクラスになるような施設があるところで、どういうふうに設計の考え方をするのかということもポイントとして確認をすることになると思いますので、そういった段目もですね。
0:56:32	今後ですね、断面としてちゃんと出していただいて議論を深めたいというふうに考えております。
0:56:48	北海道電力のツツタです太細等も踏まえたのは、設計方針の中で説明させていただきたいと思います。以上です。
0:57:00	。
0:57:01	このカナダさんのヒアリングをしてき
0:57:05	自己管理表についてちょっと質問してもいいですか。
0:57:09	実はですね気になっているのは、その裏のページのですね、実際、No.15。
0:57:15	いいですか。これって厚生費部分ですね、人工岩盤の
0:57:21	いうのを1、どうしてこういう指針において置いているのかという考え方を教えてくださいって話でして、
0:57:29	今日の
0:57:32	図面です。今日ですね資料だと、パワポの11ページ。
0:57:36	の左下の図ですね、いわゆる
0:57:40	いわゆる断面図で人口が沼津真ん中に置くんではなくて端に寄って、
0:57:47	いるのか、いわゆる安定性があまりよくないというふうに置いているのがよくわからないって話があって、
0:57:52	実際には全面にさっき言った。
0:57:56	ハーフ不陸溶液とかって掘り込みがあるので、低いところはあるので。
0:58:01	こういう値にあるという話なんですけどちょっと
0:58:05	私は気になっていうのは、対応という回答予定日が12月ごろになっていて、かなり遅いなと思っていて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:14	実は法考え方という話と、何かね、これが妥当かどうかというところまでは求めているわけではないので、
0:58:22	いわゆるこれって、
0:58:25	12月ごろまで回答求めないと平面線形的な
0:58:30	ラインがですね、物理ラインが変わり得るっていうことを意味していて、ちょっと気がかりなんですけど。
0:58:36	いかがでしょうか。
0:59:12	私たちは懸念しているのは技術的にですね、
0:59:19	支持力が不足してセットバックしなきゃいけないとか、いろいろ御タグチ構造変更があった場合にまた
0:59:28	新たに構造変更したものに対して、また、
0:59:33	その論点を抽出していかなきゃいけないんですけども、そういったことを考えたときに、
0:59:39	ここで来として12月でいいのかっていうのがあってですね、この辺、
0:59:44	そう説明する、その程度感がお互いにかみ合っていないのかなと思ってまして、それをちょっとお聞きしたかったんですけど。
0:59:55	はい。
0:59:55	北海道電力のタツタですね、西縁前回のヒアリングでもちょっと敷地の
1:00:03	配置上の都合でって話をした後、
1:00:07	それで、
1:00:11	この前見た感じ左に寄っているような位置になってますけども、このAについてはあくまでも配置の都合の敷地のサイトの
1:00:22	特徴の都合上ここに行ってセメント先行岩盤崩壊しなきゃいけないと。
1:00:29	そこは安定性のほうについてはこれにこれをメインに計算をしていくという方針は変わりませんので、ちょっと12月に説明するものが、そんなに
1:00:43	今の改善、この前の御回答で、
1:00:46	ぐらいいし流れないので、特に12月にまで伸ばすっていうものではなかったもので、これは9月の
1:00:55	9月30日。
1:00:59	はい。
1:01:00	規制庁委託料9月30日納税なければならぬということはないんですが、12月ではちょっとそうですね平面線形に関係するところは遅過ぎるだろうなと思っていることが、これ以上、
1:01:12	この北電からですけど、ちょっと組合員ですけど、これはですよ。結構把持によってますと8に寄っている状態じゃこれは持たね正しいなるとそもそも防

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	潮低の右側の線経過的に影響を与えるんじゃないかって話なんでこれについては、そうそう入力津波の評価とかそういうのにも影響する話なので、
1:01:30	ちゃんと早く議論すべきでしょうっていうそういう話で受け取ったそういうことですか。
1:01:35	はい。
1:01:37	規制庁のエザキです。多分ですね、1メートル2メートルセットバックすると。
1:01:42	また
1:01:43	入力された高さの計算の値が変わってくるので。
1:01:48	結局、基準津波にも影響を与えるかもしれませんよね。だからその辺で割と早く決めたほうがよりいいけどもでもある程度実現の可能性を考えたときに無理してそんなに
1:02:01	なんて言うんでしょうか。すごく
1:02:03	限定しなきゃいけないのかっていうのもあって、もう少し余裕のあるところに設置してもいいんじゃないかということ、人工岩盤のもう少し
1:02:13	今日、陸側に
1:02:15	置き場誰も見ても安定性があるような目に見えてくると思うんですよね。
1:02:23	それって、予算がおっしゃるように、基準津波にも関係してください。いわゆる流入力津波のチャンピオンで基準津波決めているので、そのときに、ここが同一で境界条件設けるかで買ってきちゃうから。
1:02:39	その時クリアとしては多分、あちらの津波の審査側としても割と
1:02:47	その辺はシビアに見ていると思うので、
1:02:50	時条件変わるとまた掲載計算っていう可能性はそれできると。
1:02:55	うまくないかなと思ってるんですがいかがでしょうか。北海道電からです。非常に重要なことだと思いますのでちょっとこの中で少し話してこの一次大丈夫だっていう事に何らかの形でやっぱり示していかなくちゃいけない。例えばその解析できてないにしても、どのような形で示すかも含めて、
1:03:12	ちょっと中で議論しますけれども、確かにこれ中に入っちゃうという形変わっちゃいますので、入力津波影響するってことになりますので非常にちょっと手戻りの大きい話になりますからそこはしっかりできました。
1:03:26	規制庁のエザキですもん何らしかですね、ここに対して相応する開催に設計は耐震設計の
1:03:34	その中で何かそういった対処方針があるから別に心配は要らないっていうことであれば、今後は粛々と進めていけるんだと思いますけども、
1:03:42	その辺がまだわからないんで我々としてはちょっと不安、不安要素があるかなっていうことです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:51	北海道電力タツタですコメントの御趣旨理解してきましたね。はい、了解いたしました。
1:04:01	規制庁のナグラです。
1:04:08	荷重の伝達に関して、
1:04:11	例えば 22 ページとか 27 ページで人口岩盤上の構成比基部取り合い部とか横断部に対して、
1:04:23	荷重に対して津波時の荷重に対して、
1:04:27	鋼管ぐい、
1:04:29	当岩盤との間でどういうふうな荷重とか力のやりとりがあるかっていうのを記載しているんですけど。
1:04:36	ちょっといい枠組みがあるのは 27 ページのところは、鋼管ぐに対して上部工構成比のところ、ある程度高い位置に漂流物荷重とかかるので。
1:04:53	それに対しての曲げの反力に対しての水平方向の抵抗力、
1:04:59	ということで、こういうふうな分布を示していて 27 ページの所力関係がちょっとおかしいかなとは思っただけど、イメージ的にはおかしくないんですけど、一方で 22 ページ。
1:05:15	27 ページのような単純な方持ちばり形式のものであれば反力分布として理解できるんだけど同じような分布を 22 ページに書いているんですけど。
1:05:27	これがちょっとおかしいんじゃないかなと。
1:05:29	それと似てしまうと、やっぱり回転としての曲げモーメントがちゃんと書かれて、そうすると、こういうふうな 4 本の杭もしくは荷重方向に対して日本の杭で受ける場合は、
1:05:44	作用点に対して遠い側が縮近い側はどれぐらい近いかによって引っ張りは若干発生してますよね。
1:05:54	ここは重量が重たいということもあるんだけど下からの指示しか書いてなくて、そういう意味で、引抜き杭の
1:06:05	そういったものが発生しうることも当然イメージして書いたほうがいいんじゃないかなと、何が言いたいかっていうと、
1:06:14	人工岩盤の上に W15 杭構造部長載していると。
1:06:20	いったときに、じゃあ、杭は縮は関連に持たせるとして引張っているのは無菌コンクリートだから摩擦しかないわけですね。
1:06:31	こういったところ、無菌コンクリートに対して設計するときには何かスタッド嘘かはそういうことはするのかとか、要は圧縮とか、曲げに対してはある程度杭抵抗できるんだけど引張っているのはあまり強い強くないですよ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:06:50	かつ、人工岩盤っていうのはやっぱり引っ張りが局所的に発生すると日々変わりますよね。
1:06:58	そうすると加重に対しての抵抗力が落ちるとか、そういう弱点があるんですよね、そういうものに対してどういうふうに考えていらっしゃいますか。
1:07:10	。
1:07:12	北海道電力のタツタです。また詳細の検討して計算しているところで、
1:07:19	引抜き、今回全校岩盤自体の朝の引張強度、その辺の
1:07:27	詳細はこれからですけれども、
1:07:31	結果によっては引っ張りにコンクリートに何を期待するかというところの、まあ言うとの話でも変形加重係数計算結果を見ながら検討していくことになると思ってます。
1:07:46	以上です。規制庁ナグラです。
1:07:51	今のところ設計が進んでないから答えにくいということはわかるんですけど。
1:07:56	やっぱり広域化反力とか荷重伝達を書くときは、やっぱりそこは正直に書いていただきたい。その上で設計上どうするか検討してるのであれば、そこは検討していますということであればいい話なので、
1:08:12	そういう意味でノーマルに自然に書くべきところはちゃんと書いていただきたい。北海道電力のタツタです了解いたしました。以上です。
1:08:24	規制庁ナグラです。今日はここがこら辺に関しては
1:08:30	ちゃんとしっかり資料を作ってくださいという趣旨で指摘することにとどめますんでは、
1:08:57	はい、すいません、規制庁のカドヤです。ちょっと言葉だけの確認なんですけど、
1:09:06	9 ページのところで、
1:09:09	上の黄色い四角の中で二つ目の矢羽のところで、基礎杭って言葉が出てくるんですけど、これはこの下の図で言うところの鋼管ぐいと同じことを指してますか。
1:09:37	事務対策 9 ページの上の一つ目の丸の二つ目の矢羽で基礎杭を岩盤に根入れするっていう形でちょっと言葉がもし鋼管ぐいのこと指してるのであれば何か統一したほうがいいかなと思ってですね。
1:09:53	北海道電力タツタでさのいくと鋼管ぐいのことを指してます。ヤブ二つ目の矢羽でいいとかかったのは、その検討する際にこの人工岩盤をなくして、このくいを岩盤まで延ばした検討をした時の
1:10:11	ちょっと名残で基礎ぐいということで、ちょっと統一できてませんでしたのでこれは鋼管ぐいて、修正しています。以上です。以上の硬さわかりましたなんか他

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	も何ヶ所かあったんでちょっと確認していただいて修正いただければと思います。
1:10:28	それから、ちょっと11ページのところなんですけどそれでちょっと私が理解できてなかったのがこの取合部の図があるんですけど、この取合部の右側と左側のその右側の図でいきますと右側と左側には、
1:10:47	ここにはあれセメント改良どの防潮てがたつたってっていうところで何か取り合い部から等、セメント改良部のそのつなぎのところってこの説明がちょっと見当たらなかったかなとも進めてどこかでそうそういう図がありましたでしょうか。
1:11:25	北海道電力のタツタです。
1:11:29	取合部の隣にセメント改良度があるような、ということですよ。
1:11:35	ちょっと今単品で書いて平面置き平面図にしっかり
1:11:41	ないのが5ページ辺り、ページの全体平面図、
1:11:48	緑があった通りちょっと小さいですけど、緑がとりあえずその隣にセメント改良かすぐ隣り合わせになってますので、ちょっとその辺がアップ大きな映画が今現状ないので、どうしましょうか。
1:12:07	この9ページとか10ページの隣にセメント改良どうのせ等がわかりやすいですか、既存のカドヤだからこれ隣に同じぐらいの、同じ高さでって言ったら、同じ高さで、
1:12:23	そのセメント改良度が
1:12:26	あるというイメージです。北海道電力タツタでその通りです。日9ページでいくと、緑の防火壁がありますが、この上端の上は変わらずに、
1:12:38	ありますので、そのままセメント改良の場合岩盤まで岩着してますんで、下までセメント改良造の構造が見えてませんけど、隣にあるイメージを持っていただければと思いますので、そのもう少し恥をかくようにして、その隣がセメント改良どう
1:12:58	無難だよってところを追加いたします。わかりました規制庁過程です。取合部っていうんで多分そのセメント改良炉と横断部の構成比部の取り合いだと思うので、また多分そそのそれにサンドイッチされているっていうのが、
1:13:14	わかったほうがいいかなと思ったんですね、ちょっとそこは図だけかもしれないですけど。
1:13:18	はい。
1:13:21	はい。
1:13:22	後ですね規制庁のカドヤですけども、80ページのところで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:28	今回屋外アクセスルート等屋外溢水影響評価っていうところで、これはその防潮での再構築に伴う影響ということで書いていただいているんですけど、ちょっと確認は
1:13:43	今これ二つアクセス屋外アクセスルートと屋外溢水影響評価って、書いていただいていますけどこれ以外には影響は
1:13:52	がその他のところに与えるものはないというふうに理解をしてくるんですか。
1:14:01	或いはそのインターとりあえず今主な思いついたものをここに二つハイキング好調で再構築によって有銘止水平気作ることになるので、液状化っていう観点でやっぱり影響しますので、それは従来と変わってきますけれども、直接今そのするドイツ場合に、
1:14:17	防潮で新しい形になりましたと、それによって影響を受けるのは、敷地内の10mまで面積変わってきますので、当然その溢水高さそこには影響を与えてくると思います。もう一度アクセスルートはもうもろにもともと防潮との走らせようと思ってましたので、そちらの影響を与えるっていう意味で日代表的なものとして二つ挙げています。
1:14:35	規制庁の硬さわかりましたじゃそういう位置付けで今現時点で確実にこれはと 思っている主なものを二つ書いているということで、保険金です。今はそういう ふうに考えております。
1:14:48	はい。了解しました。
1:14:52	今アクセスルートの件でいけば新しいルートができていろいろ有効性評価だっ たりとか、その手順側のその作業時間みたいなものに移行影響があると思う んですけど。
1:15:09	現時点でそういうところに影響があるということでの説明なのかそれとも影響 がないっていうことを示すのかってのは、現時点でどちらの北海道にカネダつ つ、現状は影響ない方向で考えてます。それでいきゆき有効性評価であれ ば、有効性する時間内で終わらせるしようと思っておりますし、
1:15:28	今はそういう形で考えているところでありました。ちょっと詳細はまた確認させ ていただきますけど、影響が出ない方向でいる検討されているということで、現 状は理解しました。
1:15:50	規制庁のナグラです。
1:15:55	構成平気部取り合い部等、
1:15:58	セメント改良どの防潮での評価。
1:16:03	これって
1:16:05	鋼材の部分というのは非常に施工精度高いですよね。
1:16:09	でも、セメント改良って、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:12	どういう物性とか施工性も含めてどういうふうに物性を決めるか使用決めるかによって、
1:16:21	制度がもう
1:16:23	全然違いますよね。
1:16:25	こういうものをすりつけるときにベタで接するっていうことの実現性ってどう考えてます。
1:16:34	北海道電力のタツタです。
1:16:37	一応今セメント改良ある程度協働持たセールこと考えてますけども、とりあえずについては止水ジョイントする止水目地つけるにあたって、
1:16:48	セメント改良胴側に
1:16:52	なんて言うのですかね、ゲートの当当たり部みたいなものをね込んだり、その辺を今細部の検討していく、検討してます。基本的には何かセメント変えるのに埋め込んで、そこに水蒸気目地
1:17:10	もう
1:17:11	堰外とセメント改良型の一体化をしようと考えてます。以上です。
1:17:17	。
1:17:18	規制庁のナグラです。
1:17:20	ということでいくと今後回答することになっている。岩盤吊り付部。
1:17:27	同様に、やっぱり構造境界プランというのに対してどういうふうなその弱部にならないような配慮をするかということでは共通的なテーマなので、
1:17:39	まだ厳密には多分決まらないのかなと思うんですけど、構成併記の取り合い部等をセメント改良どぶ。
1:17:48	このところをです、どういうふうに弱部にならないようにするかってのは、今後ちゃんと説明をしていただきたいと思います。先日女川のほうにも言ってきましたけど、
1:18:00	女川のほうは、鋼管杭長長ぐい考えがあるような傍聴平気部を改良胴部のほうで斜めに高う埋めていただきましてどうか、
1:18:18	そういうことをしてませんで止水の目地の処理とか非常に気を使っていると。
1:18:23	容易にそここのところ申請経路にならないように経路を長くとったりとかですね、こういうふうやってるんだなっていうのは非常によくわかったんですけど、こういったところのやっぱり工夫をうちはまだあるのかなと思いますんで、これについてはちょっと岩盤部と合わせてですね。
1:18:41	構造境界部の止水性については、設計が進捗したところで、どうするかっていうのを説明していただければと思います。はい、北海道電力のタツタです。Issue構造の間ということで、その辺は

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:59	今後詰めていきたいと思いますので、了解いたしました。以上です。
1:19:05	はい。規制庁のカドヤです。その他確認点ありますでしょうか。
1:19:11	はい。
1:19:21	規制庁の儘田です。先ほど 27 ページでちょっと議論が
1:19:28	ちょっと関連でちょっとこの例のあれですねはしはしにぎりぎりを置くことが今後の来防潮での構造。
1:19:41	成立性なり、設計方針に大きく影響する。
1:19:46	のではないかということに関連して改めてなんですけど、8 月 26 日の審査会合でも、
1:19:57	泊 3 号炉のプール、審査全体のクリティカルプラントがですね、審査全体の
1:20:06	クリティカルパスとなるの
1:20:09	防潮ていうの。
1:20:10	今、構造成立性を含む対津波設計方針ですと、
1:20:14	ということで、本格的な説明が可能になるのは 4 月後来年の 4 月 5 月だけれども、その前に
1:20:25	基本的な考え方なりを説明して議論することが効率的な審査に資するとお互いにということなので、
1:20:37	ぜひそうそういう趣旨でこの構造の特徴とかですね、今あの北海動電力として考えていることが今後のその審査にとって効率的になるような観点でぜひ
1:20:52	考え方を示していただいて、
1:20:56	効率的な審査になるように議論できるようにということで準備していただければと思いますがいかがでしょうか。
1:21:06	北海道電力のタツタです。
1:21:09	ちょっとこの辺のまとめがちょっとわかりやすいようにとか伝わりやすいようにちょっと工夫をしてちょっとこれから検討させていただきますけれども、
1:21:21	その方向でご意見いただいた方向で検討していきます。以上です。
1:21:26	規制庁の浜田です。今、27 ページを引用しましたけど来個別事例のことを申し上げているということよりも、今、今言ったような趣旨で、全体のそういうなんていうんですか。
1:21:42	大きな設計変更を伴うような要素があるのであれば、それは、
1:21:46	早めに議論したほうが、
1:21:49	審査全体の効率化に繋がるのではないかとそういう趣旨で申し上げました。
1:21:55	北海道電力カナダです。今の趣旨である非常に重要なことと思ってますエリアコメント後我々もう少し考えてみて、やはり

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:04	本格的な審査解析結果が出た後にはこれ違うよねっていう話にならないように影響を与えるようなものについてはしっかり事前に今の段階で議論できるように準備進めたいと思いますので、よろしくお願いします。
1:22:19	規制庁の天野です。あと何点かなんですけど今のその 27 ページに、
1:22:27	確か前は侵入その一
1:22:31	厚生費機を発進よく理由として
1:22:34	何ていいですかね、今制約があって、その一つとして、道路があるというような話もちょっとあったような記憶があるんですけど。
1:22:46	改めてもし道路が関係するということであれば 80 ページの
1:22:55	構成平気部取合部の多分、
1:22:59	これマスキング対象なのでなかなか発言しづらいんですけど。
1:23:08	ドイツ道路に期待するということもあるんですけどそのあたりのちょっと考え方というか、あの橋に置く理由をちょっと確認したいんですけども、
1:23:25	はい。
1:23:27	北海道電力のタツタでさのDI部のちょっと 40 ページ
1:23:34	を見ていただくと取り合い部が人工岩盤の左側に寄ってる構造ありますけども、これを
1:23:45	本当はこの人工岩盤ごと左に寄せていければ、
1:23:51	いいんですけど。
1:23:53	その部分と、あと、
1:23:57	出席わかりにくいする取水炉の施工ブロックっていうのが約 10 メータースパンだったかと思えますけれども、
1:24:08	一気に 10 名多分ぐらい動くチェック行くと。
1:24:13	左側に浦郷名刺てる見ますけどそこに食い込んであり、
1:24:19	あとこのちょっと擁壁引き出しがありますけれどもここ 100tの比擁壁のところまでを課していくことになり、ちょっとその辺の
1:24:29	ことで敷地の
1:24:32	通行上というか
1:24:35	その辺で人工岩盤が左に寄せられる限界があるというところで、ちょっとその辺も含めて、今回
1:24:44	検討していたのを確認してきますので、その辺はそのような展開の説明の趣旨でした。以上です。
1:24:53	はい、規制庁の天野です。ありがとうございます。そうすると、いわゆるSAは正側のアクセスルートのなんていうんでしょうか。戦略というかアクセスルートの確保ですかね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:08	とそそういう趣旨の制約という
1:25:12	ことはあまり今、
1:25:16	主要ではないでしょう。そういうことですかね。
1:25:45	規制庁ナグラです。こちらの土木同県側ですね。
1:25:53	気にしているのは、江府駅の一応MMRの真ん中ぐらいになるように前倒しで出したほうがいいんじゃないかとかそんなことを言ってるつもりはなくて、
1:26:05	設計のことを考えたときに、
1:26:07	フリー
1:26:08	区域からヘリ 8 までの距離っていうのが無菌コンクリートの場合に、これがコンクリートのやっぱり破壊面にどれぐらいの距離をとった方がいいのかと考えたときに、
1:26:24	今のこのおさまりっていうのは、特に構成平気部取り合い部に関しては、設計上不利だろうなど。
1:26:33	そういうことがあったので、どれぐらい出すかっていうのはもうちょっとよく考えたほうがいいですよ。
1:26:40	地盤として、無菌コンクリート設計するようなもう。
1:26:46	そういうふうな状況ではなくなるかもしれませんがよっていうふうになんかちょっと思っただけです。
1:26:55	エザキですと、会合で果たそうと思ったんですけど、27 ページ開いていただいて、
1:27:01	27 ページのですね、右下の絵を見ていただくと。
1:27:05	津浪荷重とか漂流物荷重がどう調停の壁面にぶつかって、その反力が
1:27:16	人黒板に伝わったときに、赤い線ですね。反力が生まれるっていうふうになってますので、杭先端の水平方向っていうのは、杭センターどうかっていうと、強めに近いところを回転軸にして杭は、
1:27:33	右側に
1:27:34	出ます。そうすると前のコンクリートピットれますよね。
1:27:38	そうするともう 4 号の日牛白くなくなって膨張手形売る倒れるだけという形になってしまいますんで。
1:27:49	そうすると少なくともこれで言うと、この絵で言えば、45° 方向振ったところまでは必要じゃないかなとは思いますが簡単に思うとね、普通の技術者が門谷ね。うん。そういう目で根底なんで寸法感覚はないんですけど。
1:28:07	これだけ見る限りにはすごく不安、不安な構造になってるなっていうのは思うので、前回からちょっと申し上げてるんですが、真貝っていうと思ったんですけど

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	ども、ここで話したら、ある程度もう、もうこっちの懸念材料少し離れたほうがいいかなと思ったんでちょっと説明させていただきました。
1:28:27	はい。ありがとうございます。北海道電力のタツタです
1:28:32	ちょっとその辺を持つもともとこの辺私達見た目見た目の問題も気にしてまして。
1:28:39	ちょっと不安不安な位置だになっていうところがもともと持ってましたので、
1:28:45	あとどのぐらい前出せるのかというところが、これから続く戻って検討して今検討という確信してみ今一度確認していますけれども、ちょっと
1:28:58	その辺は金利湿気にしてございましたけれどもこれコメントありがとうございます。以上です。
1:29:07	規制庁ナグラです。
1:29:10	なっているから問題意識をお伝えしたかったということでお話をしましたけど、会合ではやっぱりもっと本質的な議論をさせていただきますフローちょっと厳しい議論になるかもしれないけれども、
1:29:23	本質的な議論をさせていただきます。
1:29:27	どこかで一つの要素としてこそこういう問題意識を持っているということは、これは別にあらかじめお伝えしても全然構わないので、共催しました。以上です。
1:29:48	はい。時正当なものです。もう一定ともう1点、アクセスルートの関係なんですけれども、
1:29:57	6 ページ以下、これまでの既存防潮での構造で、
1:30:03	おそらくこの6 ページと、
1:30:06	ちょっと80 ページマスキング範囲ですけれども、左側を見ると、
1:30:12	今までのアクセスルートというのは傍聴で
1:30:16	その中で閉じられていたということだと思んですけど、それを55 ページのように、1 防潮というの範囲を内側にせることによって、
1:30:32	あれですか。
1:30:35	来残置する。
1:30:38	もう調停が残りますと、
1:30:41	いうことで、この辺りに
1:30:45	そうは言っても残置方その道路として、
1:30:49	期待するというような話もあるんですけど、ちょっとこの辺りのなんていうんですかね。
1:30:56	先ほどのアクセスルートの戦略という確保という考え方とか、
1:31:03	あとそもそもこの基本。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:31:06	文章でいうと 80 ページの二つ目の矢羽にトンネルを配置しとか、
1:31:12	東側ルート形状変更した道路設置とかって当たりのあるんですけど、このあたりのちょっと事実確認というか考え方について、
1:31:23	確認したいので、説明をお願いします。北海道電力カナダです。まず傍聴低の形状変更によってアクセスは確かに変わりますが、アクセスの自体はすべてもう調停の内側でメインの種のアクセスルートはおさまる形にしております。
1:31:40	今残置する膨張定のところについては、別途アクセスルートというあのサブルートという形では、今使うことを考えておきまして、それは地震とか津波以外の事象発生時に活用するという考えておきます地震津波がかかって発生したときに使うそのメインの発生するにつきましては、
1:31:59	すべて新設する防潮ていう内側、
1:32:02	あとその 31m 盤に当社の場合、SA 車両とか多量において保管しておきますので、そこから 10m 盤に置いてくるんについては、西側については、従前はアクセスルートが、
1:32:18	防潮ていう通ったんですけど今回使えなくなりますので、10m 盤においていくのにはトンネルを掘って下においていく形で作ります。
1:32:27	東側につきましては、従来からおりてくるルートあるんですけど、少しちょっと形状を変えますけれども同じように防潮て内側に置いてくれるとつくるとい形になります。以上です。
1:32:41	そう。
1:32:43	はい、ありがとうございます。規制庁のアマノですけどそうすると、そのトンネル構造にしないとアクセスルートかまあ、申請してしまうのでっていうような、そういうことでしょうか。
1:32:58	今の 10m ファンド防潮ていうの内側に入ってこようというふうに考えたときに、新しい防潮ての上というのは車両通れるような道路ありませんので、西側については、SA 車両を
1:33:14	号棟枢要なそういう地震とかに耐えられる通路という意味ではアクセスルートという観点では、新たに岩盤の中にトンネルを掘って、10m 盤までおりてくるようなものを作らないと内という形になります。それで今回そういう形を選択しようというふうに考えてます。
1:33:31	はい。規制庁の儘田です。わかりました。
1:33:36	ふうん。
1:33:37	そうすると、先ほどサブルートという話ありましたけど、
1:33:45	そもそもこの残置する防潮て

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:33:48	内に期待して残置するのかっていうことなんですけど、今のお話ですと、
1:33:55	メインのルートとして期待するわけではないけれども、
1:34:01	サブルートとして、
1:34:03	期待するために、一部防潮低を残置するとそういった趣旨でしょうか。他北海道電力カナダです。残置する防潮てにつきましては、アクセスルートという観点ではサブルートとして使う、通常の発電所の運用をしていく中で、
1:34:22	どうしても必要などになりますので、これについて残置してるところは普通に上がってくるのは当然日常使うような形になります。
1:34:29	ただその時に
1:34:32	こういう災害が起こったときについては、このサブルートとして、あくまで地震とか津波以外のときにはそのルート使えると思ってますのでそれをサブルートと設定しているだけでここについては、通常は普段使うルートになります。
1:34:46	はい。
1:34:48	さっき 5.5 ページでナグラからもありましたけど既存防潮ていうの残置による悪影響について、地震による崩壊については離隔を各確保というだけでしたけれども、
1:35:03	その他のですね、津波とか、
1:35:08	他例えばアクセスルート確保とか、どういった悪影響があるのかを改めて整理していただきたいんですけども、
1:35:16	そう。今のお話ですとあれでしょうか。そうすると発電所からのアクセスという意味で、
1:35:23	ここは
1:35:26	既存防潮ていう道路として残置する範囲というのも、
1:35:30	期待する部分ということでしょうか。
1:35:34	北海道電力、発電所からのアクセスっていう意味だと、発電所へのアクセスは発電所へっていうかの発電所の普通通常の業務するにあたって、例えば 31m 盤にアクセスしようと思ったら今の残置している防潮手を使って上に上がっていても使えますし、そういう意味では
1:35:54	発電所の通常業務に非常に重要な道路だというふうに考えておりますそういう形で使います。
1:36:00	以上です。
1:36:06	あと、あともう 1 点。
1:36:08	細かい確認なんですけど、これも 80 ページの右側の図で、これもちょっとマスキング範囲なんでちょっと発言しにくいんですけど、
1:36:19	トンネルの入口部分ですね、この高さ

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:25	今、入力津波との関係でいうと、
1:36:29	高いほうは浸水しないと。
1:36:33	ところに設定していて、
1:36:36	メインのルートは費申請しないけれども、
1:36:41	サブルート、
1:36:43	サブルートは、きたい。
1:36:46	できるときは、期待するとそういう考えだということでしょうか。北海道電力カナダです。まず新たに 10m 盤におけると、これ SA トンネルっていうふうには我々呼んでるんですけども、そこにつきましてはトンネルの入口の高さが TP で 21m になりますのでこれは防潮という高いとか入っていくと。
1:37:06	そういう意味で津波に対しては、前の影響受けないところの高さになっております。一方残置する膨張点につきましては、こちらは地震ではもう崩れてしまうだろうというふうに考えて当然使えないというか地震と津波以外の事象では扱うことができるだろうなということでサブルートという扱いにして、
1:37:23	あとは通常あの発電所の業務運営上は必要な道路だというふうに考えておりまして数字を使う形になっております。以上です。
1:37:31	はい。
1:37:32	はい、規制庁の浜田です。わかりました、ありがとうございます。
1:37:38	。
1:37:39	規制庁名誉ですけど、
1:37:41	今同じく 80 ページで
1:37:45	トンネルが掘られるすぐ脇に緊対上はできるように見えるんですけど。
1:37:57	でも、
1:38:00	要はあれこれ自体がトンネルって言うてますけどこれ地下トンネルじゃなくて、地上トンネルや地下トンネルになります岩盤の中繰りに停止しておりますので、地下トンネルの反映等高さ 21m ですけど、だんだんしておりますので、
1:38:15	ぐるっとこう曲がって下に合理的な可能ですか。いく上で
1:38:22	西側ルートの範囲。
1:38:26	言っていかに横棒の
1:38:35	いや、
1:38:49	わかりましたいわばちょっと理解しましてちょっとマスキング内容なのでちょっとあまりこの議論の内容についてはとりあえず理解示さ大丈夫でしょされる国連からすいませんわかりにくくて 5 ページ目のほうが実は見やすいかもしれません。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:39:05	この山の上からおりてきますと、グループとおりてきて、さらにもう1回曲がってしまうトンネルに入って下におりていくというそういう形になっております。
1:39:14	以上です。
1:39:21	はい、計上の課税ですけども、その他確認点よろしいでしょうか。
1:39:28	9社の方から何かありますでしょうか。
1:39:33	東京側の方ありません。本店何かあります。
1:39:39	補填ございません。はい、了解しました。それでは以上をもちまして、今回の泊3号炉の防潮等の設計方針についてのヒアリングを終了します。お疲れ様でした。どうもありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。